

(株)つじ農園 (三重県津市)

実証面積：150ha



実証課題名 ドローンを使った農作業のシェアリング体系の実証

構成員 (株)つじ農園、東海スカイテック(株)、ドローン・ジャパン(株)、三重北部ドローンシェアリング部会、三重県津地域農業改良普及センター

東海

- 背景・課題**
- 担い手への農地集積が進む一方で、熟練者の減少と労働力不足により、適期の作業を逃してしまうことがあり、期待される収量・品質が得られていない。
 - 当地は栽培面積 30ha 以下の中小規模の生産者が多く、高額なドローンを購入しても稼働面積が小さく、費用対効果が低いことが技術導入の妨げとなっている。



大里地区 千年村の水田

本実証プロジェクトにける想い

私たちが活動している三重県津市大里地区は、平安時代に作られた古書「和名類聚抄」に記録があるとして、「千年村」の認証を受けています。1000年以上前から、この地でお米を作り続けてきました。しかし、農家の高齢化と離農、担い手への作業負担の増大は避けられません。「これから先1000年も、ここで安定してお米を作りたい」その一心で、最新技術を導入して農業経営を効率化するために、より広い地域から仲間が集まりました。ドローンにかかる「機体」と「オペレーター」を仲間でシェアし、ともに生産能力を高めることは、今後1000年を見据えた私たちの生き残り戦略です。

- 目標**
- 散布用ドローンのシェアリングにより、導入コストを 35%削減。
 - リモートセンシング用ドローンのシェアリングにより、導入コストを 65%削減。
 - 労働時間を 10%削減。
 - 適期の防除作業により、カメムシ被害による着色米割合を 11%→6%に低減。

実証する技術体系の概要

要素技術 ①三重ドローンシェアリングシステム(MDSS)運用 ②リモートセンシング用ドローンのシェアリング ③散布用ドローンのシェアリング

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる」ポイント	③			② ③			①				②	

① MDSS：ドローンとオペレーターのシェアリングシステム



問い合わせ先

- ▶ 実証代表 株式会社つじ農園 辻 武史
- ▶ 視察等の受入について 辻 武史 059-202-2205 info@tarafuku.org